



平成 22 年 1 月 13 日

各 位

会 社 名 E・Jホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小谷 裕司  
(コード番号 2153 東証第2部)  
問合せ先 管理本部副本部長 浜野 正則  
(TEL. 086-252-7520)

### 平成 22 年 5 月期第 2 四半期の投資有価証券評価損に関するお知らせ

当社の連結子会社は、「その他有価証券」に区分される投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復が困難であると認められるものについて、平成 22 年 5 月期第 2 四半期において減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

なお、四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理につきましては、四半期洗替え法を採用しているため、平成 22 年 5 月期第 3 四半期及び平成 22 年 5 月期においては、各期末日の時価により、投資有価証券評価損の計上額が変動する場合、もしくは投資有価証券評価損を計上しない場合があります。

#### 記

##### 1. 平成 22 年 5 月期第 2 四半期における投資有価証券評価損

	単体	連結
(A) 平成 22 年 5 月期第 2 四半期会計期間（平成 21 年 9 月 1 日から平成 21 年 11 月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額（＝イーロ）	— 百万円	34 百万円
(イ) 平成 22 年 5 月期第 2 四半期累計期間（平成 21 年 6 月 1 日から平成 21 年 11 月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額	— 百万円	35 百万円
(ロ) 直前四半期（平成 22 年 5 月期第 1 四半期）累計期間（平成 21 年 6 月 1 日から平成 21 年 8 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額	— 百万円	0 百万円

(注) 1 四半期における投資有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

2 当社の決算期末は、5 月 31 日であります。

○ 純資産・経常利益・当期純利益に対する割合

	単体	連結
(B) 平成 21 年 5 月期末の純資産	— 百万円	11,263 百万円
(A/B×100)	— %	0.3%
(イ/B×100)	— %	0.3%
(C) 最近 5 事業年度の経常利益の平均額	— 百万円	342 百万円
(A/C×100)	— %	10.2%
(イ/C×100)	— %	10.4%
(D) 最近 5 事業年度の当期純利益の平均額	— 百万円	93 百万円
(A/D×100)	— %	37.3%
(イ/D×100)	— %	37.9%

(注) 平均額の算出にあたっては、当社は設立 3 期目であるため、平成 20 年 5 月期から平成 21 年 5 月期の数値は当社の連結数値を使用し、平成 17 年 5 月期から平成 19 年 5 月期の数値は現在の連結子会社である株式会社エイト日本技術開発（旧 株式会社エイトコンサルタント）の連結数値を使用して算出しております。

2. 今後の見通し

平成 22 年 5 月期の業績予想につきましては、本日公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりです。

以 上